

◆団体基本情報

No.	1	種別	公益財団法人	団体名	公益財団法人せんだい男女共同参画財団		
所在地	〒980-6128 仙台市青葉区中央一丁目3番1号						
電話番号	022-212-1627		FAX番号	022-212-1628		所管 部局	市民局 男女共同参画課
団体ホームページ		https://www.sendai-l.jp/					
代表者職氏名		理事長 水野 紀子		設立年月日		平成13年4月1日	
基本財産等		200,680 千円		市の出捐額(割合)		200,000 千円 (99.7 %)	
設立 目的	仙台における女性の自立及び社会参画を促進する事業並びに男女平等を阻害する様々な問題の解決を目指した市民の主体的な活動の援助育成を行うとともに、男女平等の社会的風土づくりを進め、もって「男女平等のまち・仙台」の早期実現に寄与する。						
事業 概要	＜自主事業＞調査研究事業、男女共同参画に関する普及啓発・情報提供事業、女性のエンパワーメントのための相談・学習事業、市民活動支援 ＜受託事業＞仙台市母子家庭相談支援センター事業、困難を抱える女性への支援事業、女性の活躍推進事業、性暴力被害者支援事業、「仙台市職員のハラスメントの防止等に関する要綱等に基づく外部相談窓口業務」 ＜指定管理事業＞エル・パーク仙台及びエル・ソーラ仙台の管理運営、男女共同参画推進事業 (公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律別表（第2条関係）第14号の公益目的事業に該当）						
評価対象決算期		令和7年4月1日～令和8年3月31日					

◆人員等の状況

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
①常勤役員数	2 人	2 人	2 人
うち市派遣	0 人	0 人	1 人
市退職者	2 人	2 人	1 人
②常勤役員平均年齢	63.5 歳	64.5 歳	62.5 歳
③常勤役員平均年間報酬	4,910 千円	4,984 千円	4,401 千円
④職員数	49 人	50 人	49 人
うち市派遣	0 人	0 人	0 人
市退職者	0 人	0 人	0 人
⑤職員平均年齢	45.1 歳	48.0 歳	48.2 歳
⑥職員平均年間給与	4,527 千円	4,627 千円	4,731 千円

◆主要財務データ

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
①当期経常増減額	△ 104 千円	△ 2,718 千円	△ 278 千円
②当期経常外増減額	0 千円	49 千円	15 千円
③当期一般正味財産増減額	△ 104 千円	△ 2,669 千円	△ 263 千円
④一般正味財産期末残高	△ 12,379 千円	△ 15,048 千円	△ 15,311 千円
⑤指定正味財産期末残高	200,521 千円	200,586 千円	200,680 千円
⑥正味財産期末残高	188,141 千円	185,538 千円	185,368 千円
⑦長期借入金残高	0 千円	0 千円	0 千円

◆市の財政的関与

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
①市からの補助金	41,819 千円	42,326 千円	40,749 千円
②市からの委託料（指定管理料含む）	482,841 千円	492,803 千円	539,176 千円
③市に対する収入依存度	98.55 %	98.46 %	98.60 %
④市からの借入金	0 千円	0 千円	0 千円
⑤市からの債務保証に係る債務残高	0 千円	0 千円	0 千円
⑥市からの損失補償に係る債務残高	0 千円	0 千円	0 千円

◆主要事業一覧及び概要

事業名	事業概要	令和7年度事業費
エル・パーク仙台 管理運営	施設の特徴と機能を生かした運営と、市民利用施設としての適切な管理を行う。また、男女共同参画に取り組む市民グループの活動を支援するため、ミニイベントの実施やスペースの提供、機器の貸出等を行うとともに、情報提供や意見交換等を通じてグループ間の交流促進を図る。さらに、「仙台防災枠組」に明記された女性のリーダーシップ促進に向けた展示やミニイベントの実施等を行う。	258,832 千円
エル・ソーラ仙台 管理運営	施設の特徴と機能を生かした運営と、市民利用施設としての適切な管理を行う。また、男女共同参画に関する図書・AV資料、行政資料等を収集し、市民の利用に供する。さらに男女共同参画に取り組む市民グループの活動を支援するため、スペースの提供や機器の貸出等を行うとともに情報提供を行う。	224,926 千円
男女共同参画推進講座	男女共同参画に関する普及啓発、女性のエンパワーメントのための学習支援等の事業を行う。	392 千円
女性相談等	専門家による法律相談等を含め幅広く女性の生き方に関する問題の相談に対応するとともに、自立に向けた支援事業を実施する。また、条例に基づき「性別による差別などに関する相談」に対応する。	4,112 千円
仙台市配偶者暴力相談 支援センター	女性への暴力相談電話のほか、保護命令制度の利用支援や心理カウンセリング等を行う。	（上記女性相談等を含む） 千円
仙台市母子家庭相談支 援センター	母子家庭の母・寡婦等を対象に相談対応やセミナーを実施し、自立に向けた支援を行う。	31,697 千円

◆経営評価の総括

項目	外郭団体による総括	所管局によるコメント
1. 公益的使命・市が期待する役割への対応	少子高齢社会の一層の進展や人口減少社会の到来、地方からの若年女性の人口流出を背景に、女性の活躍の推進は、長時間労働等、男性中心型の働き方の変革とあわせて国の重要課題となっている。また、コロナ禍以降に顕在化した女性の困難、女性支援新法の施行など、男女共同参画推進の必要性は一層高まっている。「男女共同参画せんだいプラン」に基づき、誰もがあらゆる場で生き生きと活躍できる社会を実現するため、女性の自己決定と行動の支援や、生きづらさや貧困、暴力被害等の困難な課題に取り組む事業を積極的に推進し、男女共同参画社会の実現に向けて実践的な取り組みを進めている。 また、事業実施においては、事業領域が幅広く、高い専門性を要することに加え、地域の市民活動団体や経済団体、女性支援団体等、様々な主体との円滑な連携が必要である。 当財団では、男女共同参画の視点を持った事業展開のノウハウの蓄積が十分にあり、多様な主体と連携した効果的な事業運営が可能である。	宮城県内における唯一の男女共同参画の専管財団として、地域防災における男女共同参画の推進や働く女性のネットワーク形成支援及び活躍の場の提供、困難な問題を抱える女性への支援など、常に課題発掘に努めながら社会のニーズに対応した事業に積極的に取り組んでいる。 今後とも、長年にわたり蓄積してきた専門的知見やネットワークを活用し、市民活動団体、女性支援団体、経済団体等と連携を図りながら、団体の設立目的に資するよう施設利用者の拡大や効果的な事業運営を図り、男女平等のまちの実現に向けた事業を展開していくことを期待したい。
2. 業務・組織管理	当財団の使命を果たすために必要な組織体制の強化・充実に向けて、財団の経営基本方針及び中期方針のもと、職員の専門性の維持・向上に取り組んでいる。また、地域の諸機関・団体との連携により効率的・効果的な業務運営に努めている。	平成13年4月の財団設立以降、男女共同参画に関する専門性の向上や人材育成に取り組むとともに、部署横断のプロジェクトチームを活用するなど、効果的な業務運営に努めている。今後、若手職員の能力開発や管理職の育成などを計画的に進めながら、市民団体や関係機関等との連携した事業運営を期待したい。
3. 財務状況	講座・イベントや講師派遣での受益者負担、寄附制度等、自主財源の確保に取り組んでいる。また、女性の活躍推進や女性と防災まちづくり活動支援事業、ワーク・ライフ・バランス推進、困難を抱える女性への支援事業等については負担金や受託料を獲得し実施している。財務状況は概ね安定しており、今後とも安定した財務運営に努める。	財務状況は、概ね安定している。今後とも、自主財源の確保に努めるとともに、効率的な事業執行と安定的な財務運営に努めていただきたい。
4. 今後の方向性及び課題	経営基本方針及び中期方針2022（令和4年度～令和8年度）に基づき、多様な主体と連携しながら、以下の取り組みを進める。 ・男女共同参画の視点によるまちづくりや働く場における女性活躍を推進し女性リーダーの育成に継続して取り組むとともに、さらにリーダーシップを発揮するための支援に力を入れる。 ・複合的・重層的な困難を抱える女性の自立に向けた支援に取り組む。 ・変化する社会課題の背景を的確に捉えて事業化するため、職員の専門性と組織力の向上に取り組む。 ・仙台防災枠組への取り組みとして、防災における男女共同参画の視点について継続して発信する。	今後とも、中期方針に基づき、働く場における女性活躍推進、困難を抱える女性への支援、防災分野における男女共同参画の推進などの重点課題に係る取り組みを進めていただきたい。 また、独立行政法人男女共同参画機構の設立など、国の動向も注視しながら、長年培ってきた専門性とネットワークを活かし、男女共同参画せんだいプランの推進主体としてより包括的で切れ目のない支援と社会課題の解決に向けた事業展開を期待する。